



富士市立神戸小学校
令和2年7月7日発行
創刊号

つながろう やいめこう
コミュニティ・スクール

CSだより



神戸小「コミュニティ・スクール」スタート！

令和2年度より富士市立神戸小学校がコミュニティ・スクール導入校になりました。

「コミュニティ・スクール」(CSと略す場合があります)とは、従来の学校評議員会と異なり、「学校運営協議会」を新たに設置して、地域の代表の方々が特定の権限を持ってその学校の運営に参画するシステムです。「地域の皆さんとつながり、地域とともにある学校を協力して築いていこう」という目的で設置されました。

第1回学校運営協議会開催



7月1日(水)神戸小学校にて、委員の皆さんに委嘱状交付及び第1回の運営協議会を開催しました。

(写真左。撮影のためにマスクを外しました。新しい生活様式の標準を最大限に配慮しての会議でした。)

当初、4月に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス対策のために開催を見合わせたため、3か月遅れでようやく始動しました。

なにぶん初めての取り組みです。これから皆さんと一緒に考えながら大切に育てていく組織ですので、地域の皆様にも様々な形でつながってご協力と応援をお願いいたします。

学校運営委員会 15名のメンバー紹介 (敬称略)

会長：赤渕 淳 (常願寺副住職)

副会長：秋山静子 (民生主任児童委員)

委員：川口悦治 (地域づくり推進会会長)、杉山清春 (令和元年度まちづくり協議会会長)、平山 明 (保護司)、渡邊俊美 (生涯学習推進会会長)、渡邊恵美子 (令和元年度学校評議員)、渡邊明美 (読み聞かせ「なーちゃんの会」代表)、渡邊真彦 (スポーツ推進員)、今村亨子 (令和2年度PTA会長)、佐野元洋 (まちづくりセンター長)、田中尚志 (校長)、村瀬智洋 (教頭)、山田けい子 (教務主任)、渡邊千春 (CSディレクター)

CSだよりを創刊させていただきました。神戸小学校の学校だよりとは別に、地域の皆様とつながる神戸っ子のさまざまな様子もお便りとして時折お届けする予定です。ご一読いただければ幸いです。

事務局：富士市立神戸小学校 CSディレクター 渡邊千春

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) について

「地域とともにある学校づくり」を目指して

連携・協働

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、**学校と地域の連携・協働**の重要性が指摘されています。

社会総掛かり

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠です。

共有

輝く子供たちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という**目標やビジョンを共有**することが重要です。

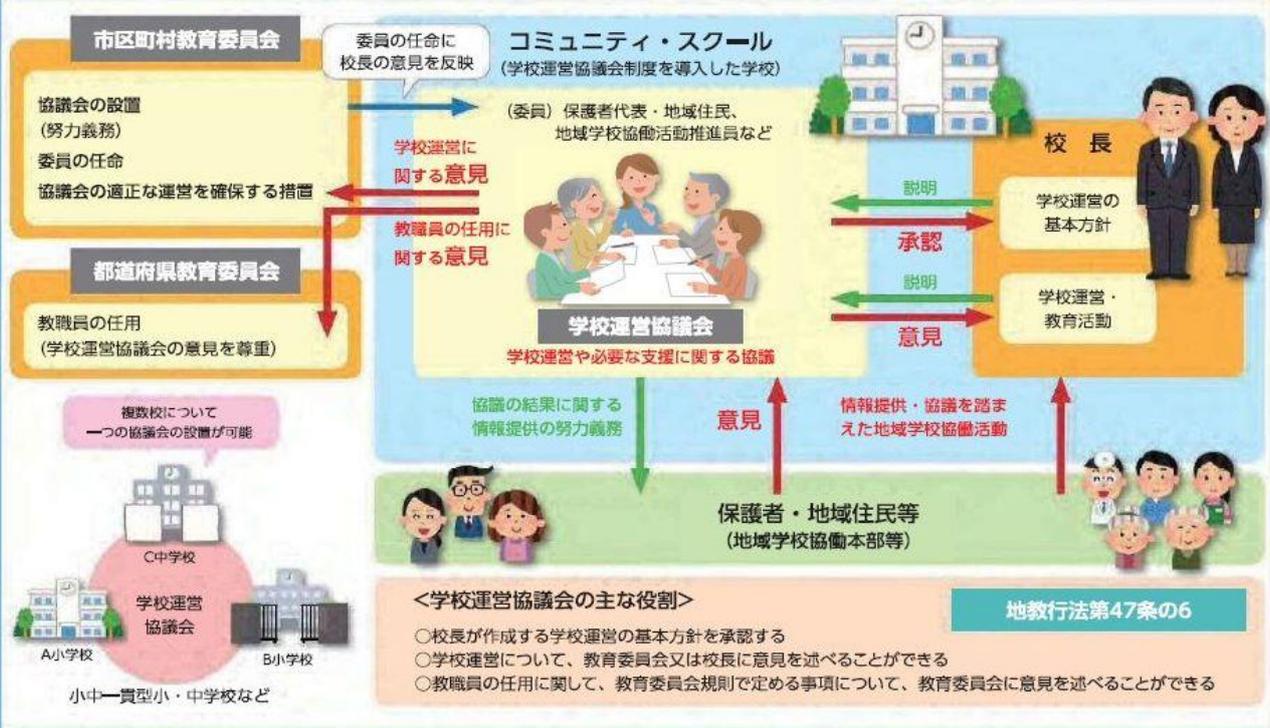
地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校づくり**」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会 を導入した学校

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) の仕組み



▶▶ コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) に関する法改正 (平成29年4月施行)

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6)

- 学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務に
- 学校運営への必要な支援についても協議すること
- 学校運営協議会の委員に、学校運営に資する活動を行う者 (地域学校協働活動推進員等) を追加
- 教職員の任用に関する意見の範囲について、教育委員会規則で定めることが可能に
- 複数校で一つの学校運営協議会を設置することが可能に
- 協議結果に関する情報を地域住民に積極的に提供することが努力義務に